



# 三河小便り

文責 渡邊

## ◇◇ ぐんぐん育て ◇◇

毎日のお世話 みなさんごくろうさん  
支柱立て等 馬場さん、鶴木さんありがとうございます

梅雨に入り、学級園の植物は、成長のスピードを増しぐんぐん成長してきました。子ども達は、自分の育てた植物が大きくなるように、晴れた日は水やりを頑張っています。収穫できるものは、時々持ち帰らせています。「トマトとてもおいしかった。」「キュウリをみんなで食べました。」うれしそうに報告してくれます。植物も人も育てるこつは、よく似ています。手をかけすぎず、必要なときに必要なものをきちんと与える。毎日の見届けが大事です。例えば、プランターで育てるより地植えがよく育つ。また、肥料のやり過ぎは植物を枯らします。植物は幹がしっかり育つと後は、手をかけなくてもぐんぐん育ちます。このように、子育ても始めは手をしっかり入れて、少し大きくなれば自分で育つよう温かいまなざしで見守ることが大切です。



2年生のミニトマト栽培



3年生のオクラ等の栽培



4年生のツルレイシ栽培



## ★今年も水害避難訓練を実施★

6月7日(水)の朝の活動で、矢部川が氾濫したことを想定して「水害避難訓練」を実施しました。1次避難場所として北校舎2階の音楽室へ、2次避難場所として北校舎屋上へと避難しました。5年前の九州北部豪雨では、矢部川の氾濫が心配され、三河小学校の体育館や校舎には、500人近くの方が避難されました。これから大雨の季節を迎えます。平年よりも雨量が多くなるという長期予報も出されています。大雨での避難はもちろん、登下校も、保護者や地域の皆様と連携しながら、安全確保に努めていきたいと思ひます。

## ◆◆ 「立腰」(りつよう) という教え ◆◆



「立腰」(りつよう)とは、腰骨を立てて背筋を伸ばして座る姿勢のことです。日本の教育界に多くの功績を残された森信三先生が提唱された取組です。森先生は、心と身体は表裏一体のものであり、「心を立てようと思ったら、まず身を起こしなさい」と教えました。

最近、三河小学校でも、姿勢が悪かったり授業中の集中力が持続しなかったりする子どもさんが見られます。そこで、「立腰」の取組を授業はもちろん、朝の会や帰りの会、給食や読書タイムなど学校生活に取り入れていきます。是非、ご家庭でも家庭学習や食事の時などに行っていただき、学校と家庭が連携して「立腰」の取組を進めていきたいと思ひます。

### 「立腰」の功德十か条

- 1 やる気が起こる
- 2 集中力が出る
- 3 持続力がつく
- 4 頭脳が明晰になる
- 5 勉強が楽しくなる
- 6 成績も良くなる
- 7 行動が俊敏になる
- 8 バランス感覚が鋭くなる
- 9 内臓の働きが良くなる
- 10 スタイルが良くなる